

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年11月12日

上場会社名 東京コスモス電機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6772 URL http://www.tocos-j.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岩崎 美樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 飯嶋 正明 (TEL) 046-253-2111  
 管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,386	△28.3	△124	—	△158	—	△220	—
2020年3月期第2四半期	4,724	△9.5	43	△81.9	△54	—	△34	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △193百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 △99百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△141.96	—
2020年3月期第2四半期	△22.09	—

四半期連結経営成績に関する注記

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	11,757	3,728	31.7
2020年3月期	11,405	3,969	34.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 3,728百万円 2020年3月期 3,969百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当につきましては、現時点では当該基準日における配当予想額は未定です。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	△19.4	△100	—	△170	—	△290	—	△187.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —  
期中における重要な子会社の異動に関する注記

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無  
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	1,581,250株	2020年3月期	1,581,250株
2021年3月期2Q	31,388株	2020年3月期	31,338株
2021年3月期2Q	1,549,887株	2020年3月期2Q	1,550,232株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P.2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(会計方針の変更)	P. 7
(セグメント情報)	P. 8
(追加情報)	P. 9
(重要な後発事象)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、新型コロナにより、経済活動が停滞し、大幅な減速状態となりました。中国では持ち直しの動きがあるものの、新興国では大幅に景気が減速、欧米先進国では第二波への警戒感があり、回復ペースは緩やかなものになっております。日本経済は、同じく新型コロナにより緊急事態宣言の発令に伴う外出自粛により、個人消費が大きく減少すると同時に、欧米での経済活動の停滞を背景に外需も大幅に減少しました。当社グループの属する電子部品業界は、一部にテレワーク拡大による需要増はあったものの、車載向け電子部品が大きく減少し、グローバル経済の減速の影響で全体的に需要が減少しました。

このような情勢下、当社グループは需要の減少から、生産部門も生産調整を強いられました。特に車載用電装部品については大幅な減少が続き売上高は3,386百万円（前年同四半期比28.3%減）となりました。

利益面では、生産減少に伴い一部を休業にするなど固定費削減に努めましたが、減価償却負担など急激に減少させることが困難である諸経費など稼働率の低下から生産工場の損益が悪化したため、営業損失は124百万円（前年同四半期は43百万円の利益）となりました。また、補助金収入が15百万円ありましたが、為替差損30百万円及び、製品補償損失23百万円を計上したため経常損失は158百万円（前年同四半期は54百万円の損失）となり、新型コロナの生産減に対する臨時休業等による損失68百万円、それに対応する助成金等収入71百万円をそれぞれ計上し、法人税等調整額を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純損失は220百万円（前年同四半期は34百万円の損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ351百万円増加し11,757百万円となりました。流動資産は610百万円増加し6,230百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が935百万円、その他に含まれる未収入金が90百万円増加しましたが、売上債権が392百万円減少したことによるものであります。現金及び預金の増加は、新型コロナの影響で資金繰りが圧迫される可能性があったため、当社グループで新型コロナウイルス感染症特別借入枠を使い資金を調達したことによるものであります。固定資産は、258百万円減少し5,527百万円となりました。有形固定資産が106百万円、その他に含まれる長期末収入金が104百万円減少したことによるものであります。主に有形固定資産の減少は機械装置の減価償却が進んだためであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ592百万円増加し8,028百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べて25百万円減少し4,141百万円となりました。主な要因は、短期有利子負債は150百万円増加しましたが、支払債務が203百万円減少したためであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて617百万円増加し3,887百万円となりました。主な要因は長期借入金が546百万円、その他に含まれる長期のリース債務が236百万円増加しましたが、退職給付に係る負債が146百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて240百万円減少し3,728百万円となりました。主に配当に伴う利益剰余金46百万円の減少と、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上220百万円によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の今後の影響を正確に予測することは困難であります。今後徐々に経済が回復するが、年度末でも影響は残ることを前提に現時点での予測としました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,479,701	2,414,883
受取手形及び売掛金	1,907,134	1,573,490
電子記録債権	556,672	498,212
商品及び製品	472,217	556,412
仕掛品	317,777	239,142
原材料及び貯蔵品	658,846	724,877
その他	236,361	231,464
貸倒引当金	△8,315	△7,912
流動資産合計	5,620,397	6,230,570
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,285,227	1,247,781
機械装置及び運搬具（純額）	984,505	982,692
土地	1,715,871	1,715,871
その他（純額）	661,496	594,651
有形固定資産合計	4,647,100	4,540,996
無形固定資産		
リース資産	—	221,273
ソフトウェア仮勘定	234,135	—
その他	25,396	43,486
無形固定資産合計	259,532	264,759
投資その他の資産	878,629	721,276
固定資産合計	5,785,262	5,527,032
資産合計	11,405,660	11,757,602
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	592,834	509,066
電子記録債務	470,876	351,315
短期借入金	1,927,000	2,050,000
1年内返済予定の長期借入金	768,217	742,446
未払法人税等	9,449	32,470
賞与引当金	6,127	55,496
その他	392,904	400,999
流動負債合計	4,167,410	4,141,795
固定負債		
長期借入金	1,500,446	2,046,709
役員退職慰労引当金	29,149	21,948
退職給付に係る負債	1,152,838	1,006,077
繰延税金負債	11,151	—
再評価に係る繰延税金負債	314,794	314,794
その他	260,807	497,587
固定負債合計	3,269,188	3,887,117
負債合計	7,436,598	8,028,912

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,277,000	1,277,000
利益剰余金	2,168,604	1,902,092
自己株式	△46,958	△46,995
株主資本合計	3,398,645	3,132,096
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,682	17,472
土地再評価差額金	734,519	734,519
為替換算調整勘定	△121,170	△112,206
退職給付に係る調整累計額	△49,615	△43,192
その他の包括利益累計額合計	570,416	596,592
純資産合計	3,969,062	3,728,689
負債純資産合計	11,405,660	11,757,602

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	4,724,857	3,386,699
売上原価	3,917,529	2,840,247
売上総利益	807,327	546,452
販売費及び一般管理費	764,275	670,591
営業利益又は営業損失(△)	43,052	△124,139
営業外収益		
受取利息	1,551	623
受取配当金	4,090	4,366
補助金収入	—	15,678
その他	26,989	28,613
営業外収益合計	32,630	49,282
営業外費用		
支払利息	12,746	17,301
為替差損	62,704	30,452
製品補償損失	—	23,639
移設関連費用	29,982	—
その他	24,822	11,803
営業外費用合計	130,255	83,196
経常損失(△)	△54,572	△158,053
特別利益		
固定資産売却益	504	—
投資有価証券売却益	70	145
助成金等収入	—	71,740
特別利益合計	575	71,886
特別損失		
固定資産除売却損	99	1,655
投資有価証券売却損	—	45
投資有価証券評価損	2,970	—
臨時休業等による損失	—	68,065
特別損失合計	3,069	69,765
税金等調整前四半期純損失(△)	△57,066	△155,932
法人税、住民税及び事業税	28,830	30,040
法人税等調整額	△51,658	34,040
法人税等合計	△22,828	64,081
四半期純損失(△)	△34,237	△220,014
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△34,237	△220,014

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△34,237	△220,014
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,913	10,789
為替換算調整勘定	△74,169	8,963
退職給付に係る調整額	6,567	6,423
その他の包括利益合計	△65,688	26,176
四半期包括利益	△99,926	△193,837
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△99,926	△193,837



### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項は有りません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(たな卸資産の評価方法の変更)

従来、たな卸資産の評価方法は、主に先入先出法による原価法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間において総平均法による原価法に変更いたしました。

この変更は2020年5月に実施した基幹システムの変更を契機として、先入先出法より総平均法にて評価を行う方が、より適切なたな卸資産の評価及び期間損益計算を行うことが出来ると判断したことによる変更であります。

2020年5月1日以前については変更後の原価計算を行うために必要な情報を保持していないため、この会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を算定することは実務上不可能であります。そのため、2020年5月1日におけるたな卸資産の帳簿価額を期首残高とみなして、2020年5月1日から将来にわたり変更後の会計方針を適用しております。当該会計方針の変更による影響額は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	可変抵抗器	車載用電装 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,609,910	3,013,952	4,623,862	100,994	4,724,857	—	4,724,857
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,609,910	3,013,952	4,623,862	100,994	4,724,857	—	4,724,857
セグメント利益	234,164	97,276	331,440	17,286	348,727	△305,675	43,052

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、混成集積回路、生産設備・金型、各種スイッチ等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用305,675千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	可変抵抗器	車載用電装 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,540,420	1,757,455	3,297,876	88,823	3,386,699	—	3,386,699
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,540,420	1,757,455	3,297,876	88,823	3,386,699	—	3,386,699
セグメント利益又は 損失(△)	204,193	△3,431	200,762	△16,219	184,543	△308,682	△124,139

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、混成集積回路、生産設備・金型、各種スイッチ等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用308,682千円あります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積もりについて)

当社グループは当期以降の業績について、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が当連結会計年度に収束するものと仮定し、当第2四半期連結会計期間末における固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の見積もりを行っております。しかしながらこれらの不確実性は極めて高い状況にあり、実際の結果はこれらの見積もりと異なる場合があります。

また、新型コロナウイルスの感染症の終息時期やその他の状況の経過によっては、翌四半期以降の財政状態及び経営成績に重大な影響を及ぼす可能性があります。

なお、前連結会計年度の有価証券報告書で記載した内容から重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。